





はだ みよこ
秦 美代子 議員

スポーツ大会の開催について

教育長／スポーツを通じた
地域づくりを進めたい

秦

私は長い間、砥部町に住んでいます。地域の人たちと関わりがあまりありません。

そこで、老若男女問わず町民が誰でも参加できるスポーツ大会の開催を提案します。スポーツ大会を開くことで、地域の人達と関わり合うことができ、また日々の生活では運動をする機会のない人でも、この大会を通して楽しさに触れることができるので、スポーツを始めるきっかけになり、運動不足解消にもつながると考えています。

町内にはゆとり公園、近くには県総合運動公園もあるので、これらの施設を利用したスポーツ大会を開催してはどうでしょうか。

教育長

町内で行われているスポーツ大会は、1年を通して18回開催して



スポーツ大会の様子

います。スポーツは心と体、健康増進、人々とのつながりや地域づくりにとって効果があると思っています。スポーツを通じて新しいコミュニケーションができ、スポーツ人口の増加や健康増進、そしてスポーツを通じた地域づくりをさらに進めていきたいと思っています。「このような大会があればいいな」というものがあれば、どうぞし教育委員会に提案してください。

少子化対策と地域活性化について

町長／子育て支援の充実に努める



かわはら さわ
河原 沙和 議員

河原

少子高齢化は日本全体、砥部町でも問題になっています。子供を産むことで仕事を辞めなければならぬ、お金がかかるといふマイナスイメージがあります。

子供を産んでからも働き続けられる環境を作ることが大切だと思います。補助金やスムーズな保育園の受け入れ、子供を一時的に預かる施設など、様々な子育て支援があることで、移住してくれる人が増え、少子高齢化、また、地域の活性化に

もつながると思います。今まで以上に、子育て支援を充実させてみてはどうでしょうか。



町長

砥部町の子育て支援策ですが、補助金に関しては出産時の育児用品や省エネ家電の購入に、1人30万円の補助をしています。

麻生保育所、砥部こども園では、リフレッシュや買い物などで利用できる一時保育事業

を実施しています。また、保育所の利用では今年9月から、第2子の保育料を無償化しており、子育て世帯の負担軽減に取り組んでいます。

働く女性が増えたからこそ妊娠前から面談を大切に、子育てに関するサポート体制の充実を図っています。子育てに関してのマイナスイメージを転換できるよう、子育て支援の充実に向けていきます。



広田地区への公共交通機関をもっとさかんに

町長／需要を調査し慎重に検証



にしおか ゆう 議員
西岡 悠

西岡



乗合タクシー

広田地区にはバス路線が通っておらず、乗り合いタクシーで移動しています。観光客が公共交通を利用し広田へ行く場合、タクシーしか移動手段がありません。そこで、広田地区に観光客向けの公共交通機関をさかんにすることを提案します。

提案があつた観光バスなどの新たな公共交通の配置は、町のイメージアップや観光振興につながる有効な手段です。しかしながら、砥部町に訪れる観光客の多くは、レンタカーやマイカーによる訪問者が大半であります。

また、広田地区へ向かいたいという観光客が、いつどの程度いるか分からない状況で、観光バスなどの運行を実施するには、車両の購入費や運転手の雇用など、多額の経費が必要となります。

まずは、観光客へのアンケートを行うなど、実態と要望を把握するとともに、観光客の方でも、乗り合いタクシーは利用することができるので、こちらも十分に周知しながら、広田地区への交通手段のあり方を慎重に検証していきたいと思えます。

町長

白石



しらい あこ 議員
白石 麻子

中学生の居場所となる児童館の設置を

町長／既存施設を利用し設置を検討

これらが実現できれば、友達と交流や勉強をする機会が増えて、コミュニケーション能力や学習意欲の向上につながります。

町長

現在、町内2か所に児童館があり比較的小学生の利用が多く、中学生が利用しにくい状況であるのは認識しています。そのため、提案のとおり新しい児童館の建設ができればよいのですが、建設には数億円の費用が見込まれることから、今すぐの建設は難しいと考えています。

なお、提案の交流スペースについては、来年度の夏休み期間に既存の施設を利用し設置できないか検討してみ



自習スペース(中央公民館2階)



てらお ゆうせい
寺尾 悠星 議員

砥部町の人口減少について

町長／パンフレット見直しの必要、 空き家のリフォーム活用を検討

寺尾

少子高齢化などの影響で人口が減り続けています。そこで、砥部町の魅力を伝えるための提案をします。

①砥部町のイベントや見所をパンフレットにし町外に配布しては。

②空き家をリフォームまたはリノベーションし活用しては。

建物をカフェや宿泊施設などに活用し、お試しで建物を安く貸出ししたりすることで、砥部の住みやすさを知ってもらうのはどうでしょうか。そして、アンケートに協力してもらい、その意見を今後に役立ててはどうでしょうか。

町長

少子高齢化などの影響により人口が減少し続けていることを重く受け止めています。
①既にパンフレットを作成し、年間およそ



2万部を県内外の観光施設やイベントなどで配布しています。ただ、内容やデザインは時代とともに見直していく必要があります。若い皆さんの視点を取り入れることも大切だと考えています。
②カフェや宿泊施設への活用、お試し期間を設けて安く貸し出すアイデアは、町の賑わいを創出し、実際に暮らしを体験してもらうことが、有効であると感じました。提案のあった施策も今後検討していきたいと思っています。

自然災害の備えと避難所の安全点検を

町長／地域と協力し安心安全な まちづくりを進めていく



かない あかり
金井 愛香梨 議員

金井

巨大地震や自然災害への備えはどのようになっているのか知りたいです。今一度、避難所の安全点検を再実行するのはいかがでしょうか。

町長

南海トラフ巨大地震では、砥部町でも震度6強の揺れが想定されています。

砥部町では、建物の耐震化、医療体制や備蓄物資の確保などに取り組みんでいます。また、防災訓練や講話を通じて、地域ごとの災害リスクを確認してもらっています。

避難所については、学校の体育館などの安全性や備蓄、トイレが使えるか、必要なスペースを確保できるか



などを職員が定期的に点検しています。
災害への備えに「万全」はありませんが、防災に関心を持つ皆さんの声が町の防災力を高める力になります。今後も地域と協力し、安心安全なまちづくりを進めていきます。

人口減少社会における まちづくりについて

町長／人口減少社会にあわせた
まちづくりをしていきたい



さかい あおい 議員
酒井 碧唯



麻生保育所

酒井

遠藤裕希議員への答弁に対する質問です。安全のまちづくり以外に人口流入に対しての施策として、子育て世代へ支援の話が出ましたが、全国で少子高齢化が進み、子育てする人が減少している中、それだけだと大幅な人口の流入は望めないと思っています。他の世代を取り入れる施策はあるのかご意見をお聞かせ下さい。

町長

砥部町で1年間に生まれてくる子どもの数は、令和6年度は100人を下回っています。人口減少のスピードを緩やかにするため、人口減少対策、子育て世代支援をしっかりとやっていき、人口が減っても砥部町がずっと続いていくように、人口減少社会に合わせてまちづくりをしていきたいと考えています。

砥部町

こども議会 議員紹介

議長



さかい とうま
坂井 杜佑真(3年)



まつもと たけお
松本 武郎(1年)



さわだ みく
澤田 実空(1年)



いなば しゅんげ
稲葉 隼典(1年)



かいのう ゆい
戒能 侑依(1年)



ひろおか そう
弘岡 蒼羽(1年)



おおたけ こはる
大饗 心晴(1年)



くりはら けいしゅう
栗原 慶舟(1年)



かわなか ゆづき
川中 結月(1年)



たなか あおと
田中 蒼大(2年)



なかがわ こうた
中川 琥太(2年)



そだ かずは
曾田 一葉(2年)



もりくち れいじ
森口 怜司(2年)



しのお ゆずき
塩野 柚季(2年)

